



2025年7月10日

	(前年同月比: %)	2024年							2025年							通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	下期	
既存店	売上高	101.6	109.3	101.9	100.8	105.0	104.2	103.9	103.6	101.8	105.6	103.8	103.6	101.3	103.3	103.6
	客数	101.8	105.8	102.0	100.0	103.5	102.8	102.7	102.5	98.7	102.4	101.8	100.3	98.3	100.7	101.7
	客単価	99.8	103.3	99.9	100.7	101.5	101.4	101.2	101.1	103.1	103.2	101.9	103.3	103.0	102.6	101.9
全店	売上高	106.0	116.0	109.1	108.8	113.0	113.1	111.1	112.6	111.4	114.8	112.5	114.1	111.2	112.8	111.9
	新規出店数	5	1	3	3	5	3	20	4	1	2	1	3	4	15	35
	閉店店舗数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	全店舗数	323	324	327	330	335	338	338	342	343	345	346	348	352	352	352

概況コメント

(環境) 当月前半は梅雨前線の影響を受けて記録的な大雨となる地域がありました。観測史上最も早い梅雨明けに伴い、月後半は気温が高くなり、統計開始以降6月として最も暑く、真夏日が多くなりました。例年より早い夏の訪れを感じさせる陽気となりました。

休日(土曜日)が前年同月と比較して1日少ないカレンダーで、既存店売上高を1ポイント押し下げました。

(商品) 食品は、グロスアリーは、スポーツ飲料やパックごはんが伸長しました。デイリーは、冷凍食品や氷に加えて、卵が貢献しました。フレッシュは、青果はカットフルーツ、鮮魚は魚卵などの塩干物、精肉は鶏肉、生ハンバーグやプルコギなどの簡単調理品が好調でした。

惣菜は、名物商品のロースかつ重がけん引した丼物の他、揚物などの温惣菜や和惣菜がそれぞれ寄与しました。

非食品は、冷感敷パッドなどの寝具や、レジャー用品、メンズインナーなどの夏物季節商品が好調となりました。

(店舗) ・6月度の新規出店: 4店 スーパーセンター: 砂川店(北海道)、大田店(島根県) smart: 佐世保大塔店(長崎県)、福津店(福岡県)

・6月度の閉店: 0店 ・改装リニューアルオープン: 0店

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、当社店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロスアリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品や家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。